

令和 6 年度 地球温暖化対策実行計画実施状況の点検・評価

滋賀県後期高齢者医療広域連合地球温暖化対策実行計画に基づき、取組実績及び取組項目の実施状況を点検し、公表します。

1. 温室効果ガス排出量実績

年 度	ガソリン使用 (ℓ)	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素ガス排出量 kg)	削減率 (対基準年)
2018 年度 (平成 30 年度)	638.36	1,481.00	(基準年)
2019 年度 (令和元年度)	665.33	1,543.57	+4.2%
2020 年度 (令和 2 年度)	432.67	1,003.79	△32.2%
2021 年度 (令和 3 年度)	433.70	1,006.18	△32.1%
2022 年度 (令和 4 年度)	696.90	1,616.80	+9.2
2023 年度 (令和 5 年度)	276.46	641.39	△56.7%
2024 年度 (令和 6 年度)	331.90	770.01	△48.1%
2028 年度 (令和 10 年度)	574.52	1,332.89	(目標) 10%削減

2. 取り組み状況と評価

2024 年度（令和 6 年度）は、保健事業において県内市町巡回頻度の増加およびその他公用車を必要とする外出機会の増加により、ガソリン使用量は基準年を下回るものの、前年度と比較して増加した。引き続き公共交通機関の利用促進およびエコドライブの徹底について職員に周知するなど、当広域連合地球温暖化対策実行計画に沿った取り組みを進めたい。

また、始業前や昼休み等の消灯や長時間使用しない OA 機器の節電、両面印刷等用紙類の削減に対しては概ね実行できており、引き続き、削減できるよう取り組みたい。